

## UNE PETITE CANTATE (小さなカンタータ)

Barbara

訳詩 : Junko Higasa (2010. 9. 25 Sat.)

あなたの方へ昇ってゆく  
指からこぼれるカンタータ  
あの頃二人で一緒に弾いた  
あなたに捧げる  
シミラレソドファ  
あなたの得意な  
ファソドファ  
自由に流れた  
音符たち  
私は下手ね  
あなたがいないと  
ひとりで奏でる  
シミラレソドファ  
あの頃のあなたの演奏が  
私の耳から離れない  
あなたの笑顔を心に浮かべ  
私が弾くから さあ 歌って 歌って  
シミラレシミラレシソドファ  
シミラレシミラレシソドファ  
幼い頃から 大切な友  
あなたがいないと  
うまく弾けない  
小さな祈りを捧げたい  
こぼれるピアノの演奏で  
あふれる思いと私の指で  
神への十字は切らないけれど  
シミラレシミラレシソドファ  
シミラレシミラレシソドファ  
つたないピアノを助けるように  
天使が奏でる トランペットで  
天使が空へ運んでゆく  
小さな祈りのカンタータ  
あなたに捧げるカンタータ  
シミラレシミラレシソドファ

シ ミ ラ レ シ ミ ラ レ シ ソ ド ファ  
(Si mi la ré si mi la ré si sol do fa)

発音は スイ ミ ラ レ スイ ミ ラ レ スイ ソ ル ド ファ をお願いします。

シミラレソドファ (スイミラレソルドファ)  
ファソドファ (ファソルドファ)